



第六卷 第二號

館 所 民 館 和  
行 公 函 書 館  
城 村 村 集 行 人 良 所  
方 城 編 集 發 行 所  
荒 木 印 刷 合 資 會 社  
冷 牟 田 印 刷 合 資 會 社  
八 幡 市 折 尾 町 國 道 筋

### 再度表彰に輝く方城村 村長

昨年十一月三日文化の日、本村公民館が全国十一優良公民館として、文部大臣の表彰に全村挙つて歓喜した。その嬉しさもさめやらぬうち、去月三十一日又々本村が福岡県下唯一の優良町村として、全国町村長会長の表彰に輝いた事は、各種新聞の報導にて御承知の事と存じます。今回の表彰は村行政全般にあつて優秀な業績を収めている町村を、郡町村長会の内申により県町村長会で厳選、最後は県地方課の裁定を仰いで結局本村は断然推薦を獲得したのであつて、別に村は是に對し運動したわけでも何でもなく、當日頃の実績が今日の栄冠となつたのであります。即ち納税成績に、役場業務に將又各種産業の振

興奨励、教育文化に或は厚生衛生状況に、住民の思想動向に、村議会との関係にあらゆる面に本村は、優れた特徴をもつています事が今や天下に於ける事となつたのであります。真面目に真摯に、日常の業務に精励する事が駆り何時となく実を結び、あらゆる面に他山の石となつた誇りを一層永続すべく全村民の御協力を願ひします。

### 農村青壯年の米國派遣と

#### 二・三男対策について

去る二月七日・八日の兩日に於て、第二次農村青壯年米國派遣者の詮議が県に於て実施された。

当村からは伊方見六在任の吉屋虎雄氏が村並に都の推せんを受け之に応募したが、県内各都市より選抜さ

れた多数の志願者の中より見事合格の栄を獲得し、近く福岡県代表として渡米する事になった。

これは一人同氏の名譽のみならず方城村としての大きな誇りであると信する。誠に文化方城村の名にふさわしい進出である。

さて國が莫大な経費を投じて行つた米國派遣の趣旨は、農村有為の青年を派遣する事によつて先進國農業の技術の普及或は二・三男対策問題としての海外移民推進の原動力たらしめると云ふ事である。現在日本農村の最大のなやみは限られた農地面積に對する過剰人口の重圧であり、加ふるにその限られた農地も都市計画とか或は各種專業会社の敷地として濫墾されておる現状である。

因に當村の実例を見たと曾つては四八〇町歩あつた農地面積が現在では四一〇町歩に減少している。これは

は國家的にも又地方自治体としても一日たりとも放任出来なない緊急事であると思ふ。

當村に於ては県下真先に指定町村となり二・三男対策協議會を結成し北海道入植運動並に斡旋をなし、又青年協力隊として第一次詮議に吉馬氏を送り、第二次に於ては香月一義氏(福岡県選出の団長)及び永末文昭氏が夫々選抜されて渡道し、北海道開拓營農方法・生活様式を体得帰郷した。

之についても一次・二次を通じ県の詮議に合格したるもの郡内四名中當方城村が三名を占めていた次第である。斯くの如く當村は國の施策に

応じ県下の先端をきつて活動しているが今後には於ても協力隊員並に農業に熱意を有する青壯年を糾合し、二・三男対策と併せて村農業生産力の発展に努力する計画である。

### 渡米に際して

芦屋 虎雄

第四には農村は旧套を脱して大きな世界状勢に眼を開き、雄々しく進んで行きたいと思ひます。

以上大きな事を申す様で甚だ僣越ですが、私の渡米の動機と希望を述べましたが、何卒約一年の間御支援と御鞭撻をお願い申上ります。

### 成人祭の概況

成人祭は次の世代を背負つて立つ人間として、自ら生き抜こうとする青年を祝う國民の祝日である。此の意義ある成人祭を、教育委員会後援で運営審議員・村會議員其他各団体長列席のもとに盛大に挙行された。しかるに青年該当事者、四三名中多数の出席で少々遺憾であつたが、幸い各位の心からなる応援を持つて會を意義あらしめた事は、主催者として紙面を借り厚く御礼申上ります。

式は華々しく開會、來賓諸賢の親身の祝辞、世代を背負つて立つ青年に對する各代表者の立場をかえての強き要望などあり、特に婦人會長の母情に於ける切実なる祝辞にありては、適齡者一同深く感動したことであらう。

先輩諸兄の祝辞後、成人者代表の答辭あり、戦後ボツダム宣言受諾と共に、將來の目標を失つた青年は一時虚脱状態に落ち入つた。しかるに講和発効と共に社会情勢も日に増しよくなり、吾々も成人になつたことを自覚し、村民として文化・教養・産業・農耕其他百般に亘つて益々研究の度を深め、互に錬磨し而して他の模範となる様、力強き答辭あり青年の意気を見せた。

引續き記念講演につつり、浅原先生

我等は、おとなになつた喜びと、其の責任の重大さを、自覚すると共に、國家再建を目指して、文化の發展・産業の振興を図り、住みよき郷土建設のため、万難を排して、当面の難局打開のため、挺身せんことを誓う。

### 宣誓文

係 N 生

### 母子福祉資金の貸付について

母子家庭の福祉を増進する為め昨年十一月十九日法律第二百五十号を以て「母子福祉資金の貸付等に関する法律」が公布され、愈々来る四月一日より施行になります。

この法律は  
配偶者のない女子であつて、現に児童を扶養している者に対し資金の貸付を行うこと等によりその経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進すること

を目的として施行されるものであつて、本人より申請があれば大体1、生業資金 2、支度金 3、技能習得資金 4、生活資金 5、事業継続資金 6、修学資金等の種別に応じ最高五万円以下の貸付ができることになつています。

返還は一定の据置期間経過後二年乃至十年以内に月賦・年賦等の方法により分割して返済すればよいことになつています。そして利率は年三分の低利で融資してくれますので、母子家庭にして現に是等の資金を必要とする場合は、この福祉資金貸付制

### 園基大会観戦記

永末生

度を利用して、その経済的自立を図ると共に児童の福祉を増進する為めにも活用されんことを望みます。

場民生課までお出下さい。

尚本制度の利用についてはいつでも皆さんの御相談に応じますから、役員民生課までお出下さい。

厳寒とはいえ、冬には珍らしい暖く恵まれた一月十八日、公民館主催のもとに炭坑対村部の交歓園基大会の幕は切つて落された。

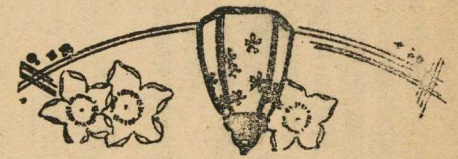
れたが結局三対二で炭坑側が圧倒的だったが、総合点数において辛うじて村部側の優勝となつた。

試合成績左の通り。



先づ村長さんより本大会を通じて炭坑との融和・親睦を図り、以て村行政の円滑なる遂行と文化発展のため寄与せられ度い旨の挨拶があつて定刻十時試合開始!!参加者一十数名、中には有段者も数名出席され、本大会を一段と豪華ならしめた。

- |       |    |    |
|-------|----|----|
| 式賞賞   | 藤島 | 村部 |
| 森山    | 炭坑 |    |
| 岩倉(完) | 村部 |    |
| 古川    | 村部 |    |
| 安川    | 炭坑 |    |
| 永末(光) | 村部 |    |
| 河野(敏) | 炭坑 |    |



### 阿波野青畝先生 歓迎俳句大会記

半風子

公民館事業の一翼として俳句による文化発展を期する為、厳冬二十八日ホト、ギス同人阿波野青畝先生を大阪より招聘して、本館日本間で第二回歓迎俳句大会を催すことになつた。

当日は寒しさも事ながら悪天候であつたのにも拘らず、方城は勿論赤池・糸田・宮田遠くは大阪よりの参加を得、特に地元関係者一同の絶大なる御支援を頂き、開催の運びとなつたことを深く感謝する次第である。

### 阿波野青畝先生作句並選句

(〇印特選)

春塵や日々炭塵の夫の顔  
上り坂下り坂あり春の泥  
あの煙はあの春にや春の雨  
春塵や句狂月哉みな浄土  
坑内の裸がわれに注意言ふ

× × ×

〇 掴ひたる手に水餅の浮き上り 糸田 しげを  
〇 ウイスキー干しいる女礼者かな 魁 陽  
雪沓にはきかへ比古へ宿下り  
〇 風花に礦葬花輪立ちならび 宮田 春秋子  
急ぐ用ポケットにあり燗炉去る  
来るはずの人の席空け年忘  
公園のかゝるところに礮塚立てる  
堅坑の水柱の落下すさまじく  
つとそれて杭に吸はるゝ牡丹雪  
大寒の命大事とよく眠る 赤池 牙子  
見舞客笑はせもして暖込める  
五平太舟塙珂の紅梅かいくぐり

× × ×

庭にある万年青も雪解はじまれる  
選炭婦まねびの頬冠  
餅の手をそろへていたる法話かな  
みとり女を姉と頼りて春を待つ  
風邪といふことの欠勤届かな  
万歳の浅黄襷せたる素袍かな  
生きること難しと思ふ姿を踏む  
寒灯を低くし子らのマスク縫う  
寝し子らを炬に見泣く日も笑ふ日も  
炭坑の灯れる障子皆黄色  
図書室に穂蕩の鉢と桜草  
山もりの炭火に迎へられにけり  
春泥の道芝山に集り来  
春塵となりつゝ道の乾きゆき  
雨霽梅の蕾のある限り  
目まぜも合はして嘘の炉話に  
梅が下水に浸せる陶土あり

糸田 仏村  
風 来  
蕩 雨  
合 流  
梅 邸  
紫 葉  
母里男  
比佐於  
淡 子  
梅 園



# RCA映画巡回状況

社会教育係 永末生

昨年来、村民各位の御支援と村議員の深い理解とに依り、待望久しくしていたR・C・A十六種映写機並スピーカー、マイク其の他附属品が漸く十一月二十五日到着、同夜本館にて技術者取扱のもとに試写会をして性能が如何に優れているかを識ると同時に、映写技術について簡単に説明された。十二月二十八日婦人会の方城音頭の舞踊練習を使用始めとして、兩来各講演・舞踊の練習は勿論、分館毎に映写の巡回を実施、今やR・C・A映写機の利用は本村視聴覚教育上、マス・コミュニケーションの方法を通じ、一般人の相互の知識および理解を進めるためにも、必要欠く可からざるものとなつた。

次に、月十日迄、同機使用の経過を記すと映写回数二十五回、延時間八十六時間で此の間あらゆる方面に利用、映写は勿論各講演会のマイクに三回、レコード四回等に益々好評を博している。

操作法も漸く修得、映写技術の研究に精進する心算です。

今後は討論会も実施して行こうと思つて居ります。

- 1、映写前に試写をして、資料をよく研究する
- 2、前以て数人を指名し、映写後

直ちに討論を始められるように用意する

- 3、予め万端の準備を整え、時間通りに始める
- 4、映画を紹介し、それを見せる理由を説明する
- 5、少数の人に会を生耳られないように、内気な人にも発言させるように仕向ける
- 6、未だ興味のあるうちに討論を打切る
- 7、討論の要点を簡単にまとめる

等一応討論についてスケジュールを組んでいます。以上R・C・A巡回状況並今後の計画の一端を記して筆を擱く。



## 分館便り

### 一、寶珠分館

一月十七・十八日 百間、社会教育活動により明るく広い視野に立つて民主主義の正しい発展につとめるため、嘉穂郡より松岡光雄先生を招聘して、成人教育講演会を開催し盛大に終つた。

### 一、古間分館

生活改善の一つである結婚式の簡素化を図るため、同分館は村長の地元だけあつて早くから懸案中だつた結婚改善に乗り出した。二月一日規約もでき一応衣裳も取整へ三組の結婚式もあり、新しい結婚理念にもとずき、成礼を離し無駄を省き、せいぜいたくを省くし、簡素にして厳粛な結婚式を行い、合理的・能率的生活態度をたてつゝあり、文化発展の基盤の一端を見ている。

次に同分館の結婚衣裳貸付規約並簡素化について

### 結婚衣裳貸付規約

- 一条 常会内の場合
    - イ、一揃貸付料 一・〇〇〇円
    - ロ、丸帯のみの場合 三〇〇円
  - 但し常会内の男子が他部落に帯のみ持参の場合
    - 一、贈答品除
    - イ、引物は絶対やめましょう
    - ロ、親以外の盆・節句・正月の結婚のための贈物は全廢致しましょう
  - 二、二次会は絶対やめましょう
  - 三、披露宴
    - イ、お膳部は七品以内とす
    - ロ、本客内輪客も同時にいたしましょう
  - 四、贈答品除
    - イ、引物は絶対やめましょう
    - ロ、親以外の盆・節句・正月の結婚のための贈物は全廢致しましょう
  - 五、その他
    - 吾々の村では困つた事には昔から古い習慣が大きくものを言つていて私達をしばつて居る。余程の勇気がないと脱出できない。併し何時までも望ましくない伝統に服従している時ではない。早く反省し自分自身を解放する途を窺見しなくてはならない。
- 結婚は借金しない事を前提として人生の門出に身軽に第一歩を踏み

### 長とす

- 五条 貸付料は前納と定む
  - 六条 貸付申込者は其の常会長の承認を求め、分館長にかりる事
  - 七条 貸付料納金は其の都度局或は農業協同組合に貯金し、翌月十一日会議に合計報告をなし、その処分は兩常会の収入とする
- 右規約す

### 結婚式の簡素化

- 一、結婚式は原則として公民館で奉行しましょう
- 二、結婚撤廃帯のかわりに着物等新調して贈る様な事はやめましょう

## 婦人会總會

三月八日前より公民館に於いて開催、講師嘉穂郡より松岡先生を招聘して講演、午後はR・C・A映写機により映画観賞会を実施し、文化発展の一翼として亦三月十六・十七日は視野を広め教養を高める意味で、婦人幹部の視察を行うことになつた。

## 三月の農事メモ

本欄が設けられて一ケ年を迎へました。御役にたてなかつたことをお詫びしながら、今後の精進を誓うものであります。新しい技術が次々に発表されている折、本欄に新鮮味を持たせる意味に於いて、これ等を出来る限り消化し皆様に御伝へたいと念願しています。

麦 土入目目に行う。麦踏は行はないがよい。中耕浅く行う。追肥は三月上旬種肥として硫酸二一四貫(下肥二〇一六貫)を施す。

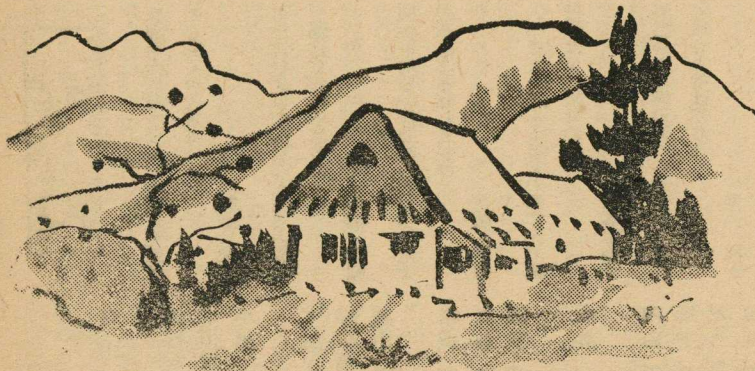
※種肥に加里肥料を加里は硫酸・下肥等の窒素質肥料に次いで流し易い。特に降雨の多い本地方に於いては分肥の必要が考へられ、一昨年より奨めて来ましたが、本年から県当局も奨励して居りますので、反当塩化加里一貫を標準に施用する

菜種 中耕浅く行う

追肥は花肥として開花始めに硫酸三十四貫(下肥二〇一六貫)施用する。

蔬菜 三月に播種又は植付けるものゴボウ・時無人参・時無大根・葱(九条・越津)馬鈴薯

西瓜 (温床鉢播き三月上旬、中旬露地三月末以降) (農業改良普及員)



詩



図書室

方城中学一年 伊藤 麗良

外は寒い風にヒュー〜と木枯しが  
木々をならし  
窓ガラスに当つて、しんとした室内  
に

ガタ〜とひびく。  
思ひ〜の考えをめぐらし  
あるいは感激し〜  
読書のよろこびが  
さむい部屋をあたくめる。

でんき

方城中学一年 杉浦 正樹

電燈をみていると目がいたくなつた  
電燈をじつと見てから字を書く  
青や赤や黄がでて眼がくらみそらに  
なつた。  
まだ見ていると大きい「は」が  
だん〜小さくなつて  
しまいに見えなくなつた。

空

方城中学一年 龍摩 龍男

空、あの美しい空  
湖のように青い  
海のように広い  
美しい空

何万かいりもある海をながめ  
何万里もある陸地を見おろし  
地球をいたくように  
希望と悲しみをのせて  
はるかかなたに去つていつた雲のよ  
うにい

つも地球を見おろしている空

しやも

一年 石橋 勝憲

しやもは  
わしのように四角ばつてい  
肩がはつて  
肩がはつて  
背が高く  
足は松の木のような。  
天気がよいので  
羽がきらり〜光つている。  
しやもはするどい目で  
もみを食べている。

麦かり

一年 田中 信子

教室

一年 坂本加代子

しずかな教室で  
ふではこの音がした。  
地下室のような  
気がした。

お父さん

一年 富永

私が小さい時、お父さんが競争にい  
つた。  
ふきけすすすに。

その時、私はまだ小さくて歩けない  
ので  
お母さんにおんぶしてもらつて  
お父さんを送つていつた。  
私はかせをひいていたので  
寒くないようにたくさん着物をきて  
いつた。

いよ〜汽車に乗る時  
お父さんが  
おくすりをのませてくれた。  
今、その事を思い出すたび  
お父さんの顔がみたい。

中学一年



秋風にゆれて夢みるす〜きかな  
友綱ひろこ

風寒き川はた道を一人ゆく  
屋成 春子

朝きりや香春の山に日の光り  
杉浦 正樹

夏空にほのおがもえる麦畑け  
川原 幸子

春風に一人たちたる姿かな  
武本恵美子

今朝の霜野菜も花もうちしおれ  
石橋 勝憲

汽車の音吹ぶさきの中に聞えくる  
出水

母さんがぬいものしてる冬の夜  
藤田 絃子

用水の水とあそぶ日曜日  
古川 拓郎

なんてんの赤い木の実の落ちはてて  
永井 成人

ぬれ緑の猫の足あと梅の花  
永井 成人

夕焼けのす〜きに休む赤トンボ  
河村 文雄



放課後の校庭さびししら壁に足音は  
かり高くひびきて

永末 敏彦

日が沈む夕日が沈むこんもりと繁つ  
た森にすわれるように  
石橋 勝憲

植物をならいはじめしわが目にはど  
の草も木も新しく見ゆ  
石橋 勝憲

いつまでも鶏みてる父の顔すんだ朝  
日がほ〜そめてい  
武本恵美子

風呂をたく煙日暮れの静かなる空高  
くまうと弟は告げる  
倉石 純子

先生の机の上の水仙がほのかにお  
う朝の教室  
高原サツ子

鈴木栄二 総監落筆記  
御手洗辰雄 新聞太平記

一月ブックルーム

利用された書物	冊数
辞典其他	18
大蔵集	7
辞典	7
日本史	21
戦史	1
家庭医学	4
生活改善集	5
村家辞典	3
英和辞典	5
大正文学全集	115
昭和文学全集	115
計	195

入館者数	開館日数	会費	登録	名数
官公	43	20	3	3
更公	14	6	2	2
炭業	65	0	2	2
農工	20	2	4	5
学生	24	5	6	6
其他	5	6	6	6
無職	6	6	6	6
計	123			

一月中新刊書  
著者 書名  
有山 松 図書館ハンド・ブ  
ック  
毎日新聞社 毎日新聞縮刷版  
末川伝三 家族法の諸問題  
小淵 孝三 町村議会の会議の  
進め方  
大村 善治 地方自治と予算  
時事通信社 時事教育年鑑  
諫山 安一 個性指導と職業指  
導  
古賀 藤久 筑豊炭田の歴史  
森耕 二郎 生活水準  
獅子文六 昭和文学全集  
永井 荷風 昭和文学全集  
内田 百閒 阿房列車  
獅子文六 やつさ、もつさ  
高村 光太郎 高村光太郎選集  
細川 護貞 情報天皇に違せず  
(上)